

(様式)

平成25年度 津山市立高田小学校 学校評価書

校長 福田 清美



1 自己評価

I 評価結果

・豊かな学力の定着、豊かな心の育成と健康安全教育の推進についてはほぼ目標どおり。また開かれた学校づくりについては目標を上回ることができた。

特に落ち着いた学習環境づくりや地域の自然や人材の活用、メール一斉配信による保護者との連絡体制の整備等で成果があった。一方、表現力の向上や、自主的に学習に取り組む児童の育成、言葉遣いやマナーの向上等、課題も残った。

II 分析・改善方策

・全職員で、各取組について達成基準を数値化するなど客観的に分析を行った。今後も取組を継続・強化したり、効果的な方法を新たに工夫したりすることで、目標達成に向け努力したい。

2 学校関係者評価委員会

- ・評価委員…町内会役員2、公民館長1、PTA2、青壮年部役員1、学校ボランティア1
- ・毎学期1回評価委員会を開催。参観日、学習発表会、運動会等にも積極的に参加をお願いした。

3 学校関係者評価

・職員が力を合わせ、地域の力も活用しながら落ち着いた学習環境づくりや基礎学力の向上、あいさつ運動等に成果をあげている。今後一層、保護者との連携を強めながら、礼儀やマナーの向上、自主的に学ぶ意欲作りに取り組んでほしい。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

1 人間力あふれる児童を育成する。

- ①自ら学びに向かう子 ②気持ちのよいあいさつをする子 ③最後までやり抜く子

2 “自然と伝承文化の豊かなふるさと高田”に根ざした教育を展開する。

- ・「自然や伝承文化とふれあい、それらを学び、それとともに生きる学習」を通して、人間力の向上を図る。
- ・地域のすばらしさを大切にするとともに、未来に向けて課題を発見したり、よりよい工夫を考えたりする子を育てる。

3 具体的な取組においては、次のことを念頭に推進する。

- ①「自発性」と「しなやかさ」を育てる取組
- ②「子どもを育てる」授業・活動づくり
- ③学校・家庭・地域との連携